

所 信 表 明

平成 28 年 11 月 25 日

このたび、市長に就任いたしました大沼明穂でございます。

所信を述べる前に、お許しをいただき一言ごあいさつを申し上げます。

本日、ここに市議会議員各位及び市民の皆さまに対し、議場で所信を述べさせていただく機会を得ましたこと、誠に光栄に存じます。

私は、今回の市長選挙を通じて、市内各地を歩き、市民の皆さまのご意見を伺う中で、沼津の疲弊感、スピード感の必要性、というものを強く感じました。

このことから、沼津市政を変えなければいけない、「世界一元気な沼津」をつくらなければならない、という思いが日増しに強くなってまいりました。

このたび、私は多くの市民の皆さまのご信任を得まして、沼津市長に就任いたしました。前回の市長選挙よりも、4.7ポイント伸びた投票率の中で、約63パーセントの票をいただけましたことは、私の公約が広く市民の皆さまにご支持いただけたものと受け止めております。

市民の視点に立ち、市民の力を活かして「世界一元気な沼津」への歩みを進めてほしい。それが、まさに、今回の選挙結果に示された沼津市民の「民意」であると認識しております。

さて、それでは市民の皆さまの力を活かして「世界一元気な沼津」をつくるためにどうしたらよいのでしょうか。

最も大切なことは、市民の皆さまの意見を聞き、行政からの提案を行っていく「対話の実現」と、そこから生まれてくる沼津のあるべき姿の具現化、そしてそのビジョンに基づく市政の実現であると考えております。

言い換えますと、来るべき本格的な人口減少社会において、子どもから高齢者まで、様々な世代が共生できる、優しく住みやすいまちづくりを目指し、そのために、市民の皆さまの意思でビジョンを形成し、行政を動かし、地域をつくっていく、そのような地方自治のあり方を進めていくことこそ、沼津が元気になるための根本と考えております。

また、首都圏に近い地の利と、素晴らしい自然と歴史・文化遺産を活かした沼津の良さを、ITなどを駆使して最大限にアピールし、観光振興、沼津への移住や、企業誘致の促進などを進め、わくわくする沼津市、挑戦する沼津市というブランド化が推進できればと思っております。

そのためには、職員はもとより、市民・議員の皆さまと手を携えて進んでいくことが、私に与えられた使命であり、全身全霊を捧げて市長の職務に邁進する覚悟でございます。

次に、私のこれからの市政運営に対する考え方を申し上げます。

「世界一元気な沼津」をつくることが、私の最も基本的な考え方であり、その実現に向けた3つの指針について、まず、申し上げます。

第一に、「市民が主役の沼津、挑戦するまち沼津の実現」で

あります。

地域を支え、地域を元気にする主役は、市民の皆さまです。市民の考えや願い、希望がしっかり反映され、市民の持てる能力が十分に発揮される地域運営の仕組みをつくります。

第二に、「住みよいまち沼津の実現」であります。

若者、子育て世代、障がいのある方々、高齢者まで、働きやすく、子育てしやすい、自分らしくいきいきと、健康で長生きできる、そのような沼津の実現に向けて、市民生活をしっかりと支える態勢を整えます。

第三に、「地域資源の活用」であります。

自然・歴史・文化・産業・人材など、沼津ほど地域を元気にできる素材に恵まれた地域はありません。それらの資源が十分に活かされた、活力あふれるまちづくりに取り組みます。

次に、この3つの指針の実現に向け、私が目指す基本方針を6つの分野にわたり、順次申し上げます。

(市民参加)

第一に、「市民参加型の長期ビジョンの作成」であります。

市民が主役のまちづくりを進めていくためには、ビジョンづくりから市民が参画し、思いを行政と共有していくことが必要であると考えます。そのためには、それぞれの地域におけるビジョンづくりをテーマとし、情報提供をしながら、市民が提案をできる場、そして、市民と意見交換をする場を設けてまいりたいと考えております。

こうした場を通じて、市役所と市民が協力し、すぐにできることを市民が主体となって取り組み、実現できるような仕

組みづくりを進めてまいります。

（産業振興）

第二に、「成長分野の産業の誘致、既存産業と調和させた沼津全体の産業振興」であります。

産業振興は、雇用や税収の確保に向け、最優先で取り組むべき課題のひとつであると認識しております。

私自身のIT企業勤務及び起業の経験を最大限に活かし、特にベンチャー企業の誘致や起業に積極的に取り組むとともに、ITなど先進技術を活用した既存の漁業、農林業及び商工業の活性化にも努めてまいります。

具体的には、起業家が経営支援を受けられるインキュベーターオフィスの整備や、東京圏へ通勤・通学する方への支援を検討してまいりたいと考えております。

また、私自身がセールスマンとなり、エンジェル税制を活用した投資導入の橋渡しも行い、ベンチャー企業の誘致・起業を図ってまいります。

（福祉）

第三に、「子育て世代・高齢者に優しいまち、人々が快適に住めるまちづくり」であります。

まず、子育て世代に対しましては、私が公約に掲げておりましたこども医療費の無料化を実現するとともに、保育園児や幼稚園児を持つ保護者の負担軽減に努め、子育て世代に住んでもらえる、選択してもらえるまちを実現してまいります。

また、健康長寿のまちを目指し、高齢者の皆さまが元気に歳を重ねていける環境づくりに努めてまいります。

さらに、障がいのある方々が自分らしくいきいきと、安心して暮らせるまちづくりに努めてまいります。

(観光)

第四に、「周辺市町との連携による観光経済の活性化」であります。

本市は沼津港や海水浴場など様々な観光資源に恵まれ、市外から多くの方が訪れていますが、周辺市町と連携を図ることにより、さらに多くの誘客が見込めるものと考えております。

特に、2020年には東京オリンピック・パラリンピック自転車競技が伊豆地域で開催されることから、これまで以上に周辺市町との連携を深めつつ、沼津の魅力を国内外に発信してまいります。

また、伊豆地域と本市の三浦地区・戸田地区を結びつけた広域観光の充実等にも取り組んでまいります。

(防災・教育)

第五に、「美しい自然と人々を守る防災、そして歴史・文化・教育を大切にすまちづくり」であります。

本市は、市街地を流れ市民の憩いの場ともなっている狩野川、原から戸田まで続く美しい海岸線、富士山の眺望や香貫山など、海、山、川に恵まれた風光明媚な地域であります。

しかし、時に自然は、市民の生命・財産を脅かすこともあります。すべての市民が安心して日々の暮らしを送れるよう、まずは、市民一人一人が災害発生の際、どこに逃げるか、何をすべきかをしっかりと認識していただくよう、正確な情報提供と啓発に努めてまいります。

また、沼津は多くの文人墨客ゆかりの地であるとともに、興国寺城跡や長浜城跡などをはじめ、歴史的資源にも恵まれた土地であります。

こうした資源を沼津の財産として大切に守っていくために、文化や歴史の魅力を効果的に市内外へ発信してまいります。

教育につきましては、総合教育会議等の場を活用し、私と教育委員会で連携を図りながら、学校教育及び社会教育の充実に努めてまいります。

(鉄道高架)

第六に、「鉄道高架事業の点検・見直し」であります。

私は、今回の選挙を通じて、鉄道高架事業についての財政上の見通しや事業効果等が市民の共通理解になっていないことを感じました。これまでも申し上げておりますが、私自身は、現時点では本事業に賛成でも反対でもない、ニュートラルな立場であります。

まずは、徹底した情報公開を行い、市民目線で本事業を検証していくべきであると考えております。

そのため、各分野の専門家の方々による検証チームを立ち上げるとともに、市民とともに議論を進め、市民が納得する形で鉄道高架事業について結論を出してまいります。

これらのほか、行財政改革につきましては、私が公約に掲げておりました市長の給料等の50%カットを行うほか、民間活力の活用や市政情報の効果的な発信等により着実に行政改革を推進するとともに、財務状況の見える化を積極的に行い、投資効果を最大にするような行財政運営をしてまいりたいと考えております。

また、職員が明るく元気に仕事をし、自由にものを言える風通しのよい市役所をつくってまいります。

さらに、各分野において、市民への情報提供・情報共有の推進や、市民がつくってきた様々なコンテンツの積極的なPR等に努め、市民一人一人が元気な沼津を実感できるまちづくりを進めてまいります。

「世界一元気な沼津」を目指し、職員が自ら考え、積極的に行動するとともに、市民の皆さま、議員の皆さまと一丸となってその実現に取り組んでまいりたいと考えております。

議員の皆さまにおかれましては、ご理解とお力添えを賜りますよう、心からお願い申し上げます、私の所信表明といたします。